

# 小諸新校再編実施計画懇話会のまとめ

高校再編推進室

## 1 小諸新校再編実施計画懇話会の概要

### (1) 開催日時・場所

	月 日	時 間	会 場
第1回	令和2年12月17日(木)	18:00~19:30	小諸市民交流センター
第2回	令和3年2月22日(月)	18:00~19:30	小諸商業高等学校
第3回	3月25日(木)	18:00~19:30	小諸高等学校
第4回	4月27日(火)	18:00~19:30	小諸市役所
第5回	5月24日(月)	18:00~19:30	小諸市役所
第6回	7月20日(火)	18:00~19:30	小諸高等学校
第7回	9月17日(金)	18:00~19:30	オンライン会議
第8回	11月2日(火)	18:00~19:30	小諸高等学校
第9回	12月23日(木)	18:00~19:30	小諸市役所

### (2) 主な意見交換内容

- 再編実施基本計画（募集開始年度、校地校舎、設置学科、募集学級数、新校の学校像等）について

## 2 校地検討部会の概要

### 開催日時・場所

	月 日	時 間	会 場
第1回	令和3年3月25日(火)	16:30~17:30	小諸高等学校
第2回	4月27日(木)	16:30~17:30	小諸市役所
第3回	5月24日(月)	16:30~17:30	小諸市役所
第4回	6月18日(金)	16:30~17:30	小諸高等学校
第5回	7月20日(火)	16:30~17:30	小諸高等学校
第6回	11月22日(火)	16:00~17:00	オンライン会議

## 3 懇話会の構成員（別紙のとおり）

#### 4 懇話会のまとめ

##### (1) 新校の学校像に関すること

《地域を舞台に多様性を重視しグローバルな視点で未来を創造する 3科融合校》

#### 【基本理念】

多様な進路を志すもの同士が協働して学び、本物に触れ、実社会を学びのフィールドとし、新たな社会を創造する一員として活躍する有為な人材を育む。

#### 【教育方針】

- (1) 地域をフィールドとした協働的・探究的な学びをとおして「課題発見力」「探究力」の伸長を図るとともに、地域の発展に貢献できる人材を育む。
- (2) グローバルな視点・感覚を涵養するとともに、コミュニケーション能力や多様な観点から考察する能力（クリティカル・シンキング）等を育む。
- (3) 主体的な学びをとおして、自らの可能性と未来を切り拓く力に気づき、より大きな夢に向かって挑戦する人材を育む。

#### 【新校で重視する学びの姿勢】

Agency（エージェンシー）  
主体的に社会変革実現を目指す姿勢・意欲



戦略的学習力  
何を？、どのように？学ぶのか

#### 《新校の学びの柱》

地域と連携した学び

学科・教科横断型の学び

本物に触れる学び

- 多様性を大切にする学び
- ワクワクする学び
- 小諸ならではの学び

実現に向けて

地域連携コンソーシアム  
構築

商業科

普通科

音楽科

学科・教科横断型の授業を展開、実社会をフィールドとした3科のハーモニー

○商業の専門性を伸ばし、地域を舞台にした実践的な学びを通して、未来を拓くイノベーションの担い手の育成を目指す

○協働的に地域課題を探究する学びを通して、多様な進路への無限の可能性を追求し、高いレベルでの自己実現を目指す

○音楽の専門的な学びに加え、他科と融合した諸活動を通して、世界を舞台に多様で大きな夢を実現する力を養成する

小諸新校独自の探究的な学びにより、主体的・協働的に生き方や学ぶ意義

## (2) 募集開始年度に関すること

小諸新校の募集開始年度は、令和8年度以降の、できるだけ早期とすることを希望する。

佐久地域の中学校卒業予定者数の予測から、両校の学校規模の縮小化は避けられず、できるだけ早期の統合によって新たな学びを実現する必要がある。一方で、新校の校舎整備に要する期間が最短でも4年程度であることが示されている。その期間において、新校開校に向け両校が連携した学びを深めていくことが必要である。

これらを勘案すると、小諸新校の募集開始年度は、令和8年度以降のできるだけ早期とすることを希望する。

## (3) 活用する校地校舎に関すること

新校の校地は、小諸商業高校の校地校舎を活用することが考えられる。

活用する校地については、鉄道を利用して遠方から通学する生徒もいる現状や、傾斜地が多く自転車での通学が困難な地理的制約も踏まえ、小諸商業高校を新校の校地校舎として活用することが考えられる。また、小諸新校の校地が市街地にあることで、小諸市が進めている「多極ネットワーク型コンパクトシティ」のまちづくり構想と連動した、地域協働コンソーシアムの構築が考えられる。

なお、現行の普通科と音楽科の諸活動に必要な施設・設備、地域と連携した新たな学びを実現する施設・設備、必要に応じた校地拡張及び周辺整備をすることが考えられる。

## (4) 設置課程・学科、想定する募集学級数に関すること

全日制課程は普通科、商業科、音楽科を設置し、7学級以上とすることが考えられる。  
また、定時制課程を設置することが考えられる。

設置学科については、地域課題を探究する学びを通して高いレベルで自己実現できる人材の育成を目指す普通科、地域を舞台にした実践的な学びを通して未来を拓くイノベーションの担い手の育成を目指す商業科、世界を舞台に多様で大きな夢を実現できる人材の育成を目指す音楽科を設置し、必要な教育課程を編成して実社会をフィールドとした3科融合の学科・教科横断型の授業を展開することを望む。

佐久地域の中学校卒業予定者数の推移と現在の両校の募集学級数から、新校の開校年度を令和8年度以降とした場合、7学級以上が想定される。

また、東信地域全体の配置状況を考慮し、県教育委員会が公表する再編・整備計画【三次】(案)を踏まえ、定時制課程の設置を検討する必要がある。

(別紙)

## 小諸新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

氏名	所属等	任期
◆田中 尚公	小諸市副市長	R2. 12. 17～
◇小林 秀夫	小諸市教育委員会教育長	R2. 12. 17～R3. 9. 17
◇山下 千鶴子	小諸市教育委員会教育長	R3. 11. 2～
◇市川 美香	北佐久郡町村教育委員会連絡協議会御代田町教育委員	R2. 12. 17～
◇塩川 秀忠	小諸商工会議所副会頭	R2. 12. 17～
柴崎 晋輔	小諸青年会議所理事長	R2. 12. 17～R3. 3. 25
小林 秀気	小諸青年会議所理事長	R3. 4. 27～
清水 信	さくさく農園代表	R2. 12. 17～
西村 廣一	元小諸高校・小諸商業高校校長	R2. 12. 17～
甘利 庸子	のぞみグループ代表取締役社長	R2. 12. 17～
山下 千鶴子	小諸市社会教育指導員	R2. 12. 17～R3. 9. 17
吉沢 久	佐久地域振興局 局長	R2. 12. 17～R3. 3. 25
高橋 功	佐久地域振興局 局長	R3. 4. 27～
◎高見澤 敏光	小諸商業高等学校同窓会会長	R2. 12. 17～
鷹野 昭裕	小諸高等学校同窓会会長	R2. 12. 17～
土屋 壮亮	小諸市P T A連合会会長	R2. 12. 17～R3. 3. 25
前嶋 信義	小諸市P T A連合会会長	R3. 4. 27～
北澤 隆司	小諸商業高等学校P T A会長	R2. 12. 17～R3. 5. 24
田島 幸子	小諸商業高等学校P T A会長	R3. 7. 20～
土屋 竹志	小諸高等学校P T A会長	R2. 12. 17～R3. 5. 24
土屋 邦子	小諸高等学校P T A会長	R3. 7. 20～
福澤 みゆき	小諸市小学校長会会長 (千曲小学校長)	R2. 12. 17～R3. 3. 25
丸山 穰	小諸市小学校長会会長 (野岸小学校長)	R3. 4. 27～
鹿取 俊彦	小諸市中学校長会会長 (芦原中学校長)	R2. 12. 17～
◇岩本 秀幸	小諸商業高等学校校長	R2. 12. 17～
原 周一郎	小諸商業高等学校教諭	R2. 12. 17～
◇寺島 克彦	小諸高等学校長	R2. 12. 17～R3. 3. 25
◇井村 敏明	小諸高等学校長	R3. 4. 27～
金子 房夫	小諸高等学校教諭	R2. 12. 17～R3. 3. 25
木住野 修平	小諸高等学校教諭	R3. 4. 27～
小口 貴子	小諸商業高等学校生徒会長	R2. 12. 17～R3. 9. 17
岩下 愛美	小諸商業高等学校生徒会長	R3. 11. 2～
佐藤 大輝	小諸商業高等学校生徒会副会長	R2. 12. 17～R3. 9. 17
小林 太	小諸商業高等学校生徒会副会長	R3. 11. 2～
小林 あやの	小諸高等学校生徒会長	R2. 12. 17～
柳澤 海里	小諸高等学校生徒会副会長	R2. 12. 17～R3. 9. 17
根岸 悠希	小諸高等学校生徒会副会長	R3. 11. 2～

◎：懇話会座長(校地検討部会構成員兼任)

(敬称略)

◇：校地検討部会構成員 (◆：部会長)

# 伊那新校再編実施計画懇話会のまとめ

高校再編推進室

## 1 伊那新校再編実施計画懇話会の概要

### (1) 開催日時・場所

	月 日	時 間	会 場
第1回	令和2年11月26日(木)	18:00~19:30	長野県伊那合同庁舎
第2回	令和3年1月19日(火)	18:00~19:30	伊那北高校同窓会館
第3回	2月16日(火)	18:00~19:30	長野県伊那合同庁舎
第4回	4月20日(火)	18:00~19:30	長野県伊那合同庁舎
第5回	6月14日(月)	18:00~19:30	長野県伊那合同庁舎
第6回	7月27日(火)	18:00~19:30	長野県伊那合同庁舎
第7回	9月21日(火)	18:00~19:30	オンライン会議
第8回	10月26日(火)	18:00~19:30	長野県伊那合同庁舎
第9回	11月30日(火)	18:00~19:30	長野県伊那合同庁舎
第10回	12月21日(火)	18:00~19:30	長野県伊那合同庁舎

### (2) 主な意見交換内容

- 再編実施基本計画（募集開始年度、校地校舎、設置学科、募集学級数、新校の学校像等）について

## 2 校地検討部会の概要

### 開催日時・場所

	月 日	時 間	会 場
第1回	令和3年2月16日(火)	16:30~17:30	長野県伊那合同庁舎
第2回	4月20日(火)	16:30~17:30	長野県伊那合同庁舎
第3回	5月28日(金)	16:30~18:00	長野県伊那合同庁舎
第4回	6月14日(月)	16:30~17:30	長野県伊那合同庁舎
第5回	7月27日(火)	16:30~17:30	長野県伊那合同庁舎
第6回	11月22日(火)	16:45~17:30	長野県伊那合同庁舎

## 3 懇話会の構成員（別紙のとおり）

#### 4 懇話会のまとめ

##### (1) 新校の学校像について

### 探究をベースに自ら学びをデザインする上伊那地域の普通科教育の拠点校

目指す  
学校像

- 「探究」を核とした学びを通して、自己実現と社会貢献を目指す
- 他者との協働を通して、多様な価値観を共有し人間性をはぐくむ
- 自主的な活動や創造的な活動を通して、主体性をはぐくむ

### 新たな学びに対応したシステム

「探究」をベースにした教育活動  
個別最適な学びを実現する“単位制”  
教科横断型授業の展開

大学・研究機関・企業・自治体などと協働した学び

1年次：2学科とも必履修科目を中心に履修

2・3年次：自分の学びを自分でデザインして、個別最適な学びを実現する科目選択

#### 〈普通科〉

- 地域や日本、世界で活躍し、予測困難な未来社会の核となる人の育成を目指す
- ◇地域と密着し、ローカルな視点とグローバルな視点で行う探究活動
- ◇自らの興味関心や将来を見据えた選択ができる多様な科目の設置
- 4年制大学や海外の大学への進学をはじめ、多様な進路実現を目指す

#### 〈文理学際科(仮称)〉

- 学問的真理を追究する意欲、社会の課題解決への挑戦心や使命感を持つ人の育成を目指す
- ◇地域との連携はもちろん、大学・研究機関との連携による、発展的な探究活動
- ◇文理融合で、理系の学びを重視する系列と文系の学びを重視する系列を設置
- 難関国公立・私立大学や海外の大学への進学を目指す

共創

### 上伊那地域コンソーシアム

地域課題の解決や地域創生・イノベーション、地域を越えた多様な人との出会いを創出



医療機関



大学



企業



自治体



国際機関



上伊那広域連合

等

## (2) 募集開始年度に関すること

伊那新校の募集開始年度は、令和 10 年度以降の、できるだけ早期とすることを希望する。

上伊那地域の中学校卒業予定者数の予測から、両校の学校規模の縮小化は避けられず、できるだけ早期の統合によって新たな学びを実現する必要がある。一方で、新校の校舎整備に要する期間が最短でも 6 年程度かかることが示されている。

これらを勘案すると、伊那新校の募集開始年度は、令和 10 年度以降のできるだけ早期とすることを希望する。

なお、それまでの間において、新校開校に向け両校が連携し、大学・企業・地域と連携・協働した探究的な学びを深めていくことが必要だと考える。

## (3) 活用する校地校舎に関すること

新校の校地は、伊那北高校の校地校舎を活用するとともに、伊那弥生ヶ丘高校の第 2 グラウンドも有効に活用する。

校地の選定にあたっては、校地検討部会で、校地選定に係る 11 の検討項目を県教育委員会に示し、判断を委ねた。県教育委員会から「伊那北高校の校地を活用すること、伊那弥生ヶ丘高校の第 2 グラウンドについても有効に活用していくこと」とする判断が示されたところであり、その判断に基づき、新校の開校に向けて準備を進めてほしい。

## (4) 設置課程・学科、想定する募集学級数に関すること

全日制課程は普通科、文理学際科（仮称）を設置することが考えられる。募集学級数は 8 学級以上とすることが考えられる。

設置学科については、「地域や日本、世界で活躍し、予測困難な未来社会の核となる人」の育成を目指す普通科と、「探究的に学びを深め、学問的真理を追究する意欲、社会の課題解決への挑戦心や使命感を持つ人」の育成を目的とした、文理学際科（仮称）の設置が考えられる。

上伊那地域の中学校卒業予定者数の推移と現在の両校の募集学級数から、新校の開校年度を令和 10 年度以降とした場合、8 学級以上が想定される。

なお、両科とも、多様な進路を実現するための選択科目の充実と、自ら学びをデザインできる柔軟な教育課程の編成を望む。

(別紙)

## 伊那新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

氏名	所属等	任期
◆林 俊宏	伊那市副市長	R2. 11. 26～
○澤井 淳	飯島町教育委員会教育長	R2. 11. 26～
本多 俊夫	駒ヶ根市教育委員会教育長	R2. 11. 26～
◇田中 章	上伊那広域連合事務局 事務局長	R2. 11. 26～
◇田畑 和輝	伊那商工会議所監事	R2. 11. 26～
春日 俊也	駒ヶ根商工会議所副会頭	R2. 11. 26～
黒河内 貴	株式会社仙醸代表取締役社長	R2. 11. 26～
福田 正樹	信州大学農学部教授	R2. 11. 26～
高橋 百合子	長野県看護大学小児看護学講師	R2. 11. 26～
河野 宏	一般財団法人上伊那医師会長野県学校医委員会委員	R2. 11. 26～
中山 佳代	元上伊那地域の高校の将来像を考える協議会委員	R2. 11. 26～
佐藤 公俊	上伊那地域振興局 局長	R2. 11. 26～R3. 2. 16
竹村 浩一郎	上伊那地域振興局 局長	R3. 4. 20～
◇山田 益	伊那北高等学校同窓会運営委員会委員長	R2. 11. 26～
◇下島 典子	伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会長	R2. 11. 26～
林 裕二	伊那北高等学校PTA会長	R2. 11. 26～
伊東 文彦	伊那弥生ヶ丘高等学校PTA会長	R2. 11. 26～R3. 2. 16
塩谷 万紀子	伊那弥生ヶ丘高等学校PTA会長	R3. 4. 20～
寺澤 美智代	上伊那PTA連合会副会長	R2. 11. 26～R3. 2. 16
有賀 大祐	上伊那PTA連合会長	R3. 4. 20～
◇埋橋 浩	伊那北高等学校長	R2. 11. 26～
大石 英一	伊那北高等学校教諭	R2. 11. 26～
◇平澤 裕二	伊那弥生ヶ丘高等学校長	R2. 11. 26～R3. 2. 16
◇松村 明	伊那弥生ヶ丘高等学校長	R3. 4. 20～
唐澤 功	伊那弥生ヶ丘高等学校教諭	R2. 11. 26～
藤澤 康一郎	上伊那小学校長会会長 (辰野西小学校長)	R2. 11. 26～R3. 2. 16
大島 俊彦	上伊那小学校長会会長 (南箕輪小学校長)	R3. 4. 20～
尾形 浩	上伊那中学校長会会長 (箕輪中学校長)	R2. 11. 26～R3. 2. 16
藤田 浩史	上伊那中学校長会会長 (東部中学校長)	R3. 4. 20～
松尾 穂野香	伊那北高等学校生徒会長	R2. 11. 26～R3. 9. 21
伊東 琴音	伊那北高等学校生徒会副会長	R2. 11. 26～R3. 9. 21
宮内 華	伊那北高等学校生徒代表	R3. 10. 26～
春日 碧依	伊那北高等学校生徒代表	R3. 10. 26～
瀧本 杏	伊那弥生ヶ丘高等学校生徒会長	R2. 11. 26～R3. 9. 21
三ツ井 葉留	伊那弥生ヶ丘高等学校生徒会副会長	R2. 11. 26～R3. 9. 21
唐澤 利海	伊那弥生ヶ丘高等学校生徒代表	R3. 10. 26～
杉本 穂波	伊那弥生ヶ丘高等学校生徒代表	R3. 10. 26～

○：懇話会座長 (校地検討部会構成員兼任)

(敬称略)

◇：校地検討部会構成員 (◆：部会長)